

日中関係学会関東支部：研究会（11月21日）

杜新さん（慶應義塾大学法学部 講師）

「日中若い世代のサブカルチャー交流」

金堅敏さん（富士通総研経済研究所 主席研究員）

「活発化するベンチャー活動はブームで終わるのか？」

日中関係学会（会長・宮本雄二元駐中国大使）は11月21日（火）、東京神田・学士会館で関東支部主催の研究会を開催します。

講師の杜新さんは、社会学を専門とする新進気鋭の研究者で、文化産業としての日本のサブカルチャーの海外進出、漫画・アニメを中心に中国におけるグローカル化（注）を例にして、コンテンツ交流の役割とその経済効果についてお話ししていただきます。

（注）全世界を同時に巻き込んでいく「世界普遍化」（*globalization*）と、地域社会の文化要素を織り込みつつ根付いていく「地域限定化」（*localization*）の2つの言葉を組み合わせた造語。

金堅敏さんは、通商政策、産業・技術政策、企業経営論を専門領域とされ、研究会では中国の「ニューエコノミー」の中で活発化するイノベーション、ベンチャービジネスについてお話ししていただきます。

皆さん、お誘いあわせの上、ご参加ください。非会員の方も歓迎します。

▽日時：11月21日（火）18：00から21：00

▽場所：学士会館 320号室 千代田区神田錦町3-28 Tel 03-3292-5936

都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A9 出口より徒歩1分

▽講師：

①杜新さん（慶應義塾大学法学部 講師）

テーマ：「日中若い世代のサブカルチャー交流—日本の漫画・アニメの中国におけるグローカル化—」

*日本のサブカルチャー・ポップカルチャーのグローバル化

*アニメ「聖闘士星矢」シリーズを例に、30年間にわたる中国社会への幅広い影響を紹介。

*中国のファンは、自らの社会的文化的背景に基づき、様々な二次創作に取り組み、それが日本発漫画・アニメなどコンテンツのグローカル化を進め、文化産業としての経済効果も生んでいる。

②金堅敏さん（富士通総研経済研究所 主席研究員）

テーマ：「活発化するベンチャー活動はブームで終わるのか？」

*産業高度化で注目される「ニューエコノミー」とイノベーション活動

*IPR 大国になったが、経済効果が相応になっていないのはなぜか：イノベーションシステムの改革

*創業ブームとユニコーンの量産、世界強豪に伍する GIANT：この循環は持続可能か？

*中国産業の将来展望：「ニューエコノミー」と「オールドエコノミー」の融合は可能か

▽ご挨拶 宮本雄二 日中関係学会会長

▽簡単な懇親会を予定 (20:40~21:00)

▽参加費：会 員 1,500 円、 学生会員は無料

非会員 2,000 円、 学生非会員は 500 円

< 講師紹介 >



杜新 (Du Xin) さん略歴 中国北京市出身。北京大学、慶應義塾大学卒。学位：修士（文学、社会心理学）、博士（社会学）。研究分野は現代社会論、青年社会学、労働社会学、日本文化。北京大学在学中に文部省の奨学生として来日し慶應義塾大学に留学。卒業後、大学教員や研究員などを経て、現在共同通信社国際局デスク。著書『若者の就労意識に関する国際比較—日本と中国の高度層者を中心とした質的調査研究』、『日本人の労働観』研究の歴史的変遷、「日本・中国の留学帰国者の進路と生活」、「日本伝統『恩』意識の伝承」etc.



金堅敏 (Jin Jianmin) さん略歴 富士通総研経済研究所主席研究員・博士。専門は、通商政策、中国・新興国経済・産業論、IoT 時代のイノベーション政策/活動。中国浙江大学大学院/横浜国立大学国際開発研究科修了。主な著作に『図解でわかる中国有力企業と主要業界』、『華人エコノミストの見た中国の実力』（共著）、「中国ビジネスのガバナンス強化を」、「中国のネットビジネスの革新と課題」、「産業の高度化を狙う中国製造 2025 を読む」、「The Changing Currents of Transpacific Integration: China, the TPP, and Beyond」ほか

~~~~~

☆参加申し込み：下欄の「11月21日研究会申し込み」にご記入の上、下記メールアドレスにお送りください。早めのお申し込みをお願いします。なお、会員の方は「11月21日の研究会に参加します。氏名（会員）」のみで、メールいただければOKです。

会員の方 = [kny9244@gmail.com](mailto:kny9244@gmail.com) (国吉)

非会員の方 = [takayamayu5@gmail.com](mailto:takayamayu5@gmail.com) (高山)

<11月21日研究会申し込み>

●氏名：

●所属先：

\* 学生の方は、大学名に加え学部・研究科名、学年も記載してください。

●参加資格（以下のいずれかに○を付けてください）：

1. 会員 2. 非会員 3. 学生（会員） 4. 学生（非会員）

●連絡先（メールアドレス or 電話）：